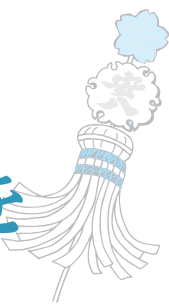


まとい

～安八町消防団だより～

1年間の活動を振り返って



安八町消防団と安八町女性防火クラブは、防火・防災意識の向上に努め、住民の生命と財産を守るために活動を行っています。

本年度においては、5月の水防工法訓練、6月の火災防ぎよ訓練、7月の普通救命講習会、9月の安八町総合防災訓練、11月の安八郡消防連合演習など多種多様な訓練を行ってきました。

また、1月の出初式では、1年間の活動の成果を披露することができました。

消防団を少しでも知ってもらおうと考え、10月の安八ふれあい祭りでは、消防車両の展示をしたほか、地域の防災訓練やイベントにも積極的に参加しています。

全国火災予防運動に併せ、春と秋には、夜間の啓発パトロールや消防全車両の一斉パレードを実施したり、年末には3日間の夜警を行いました。

また、女性防火クラブと大垣消防署合同で、防火啓発のための家庭訪問を実施するなど、火災予防運動にも力を入れ、活動を行ってきました。

残念ながら、今年度は無火災ではありませんでしたが、今後も『火災の無い安八町』を目指し活動してまいります。

近年は長く消防団を続ける団員が少なくなっており、技術や知識の伝達が難しくなっております。その対策として、消防学校へ入校し、その知識・技術を他の団員に伝えたり、町の防災庫にある機器の取扱いを学ぶなど、火災や災害が起きた場合には、迅速に対応出来るように訓練を行ってきました。実践に強い消防団として、地域に密着した女性防火クラブとして活動していきますので、引き続き皆さまのご支援をお願いします。

～退団にあたり～妹尾祐作第3分団長



消防団として、実際に火災現場へ出動することで、改めて火の恐ろしさを感じました。それ以降、「火災なんてものは絶対に起こしたくない」と、強く思うようになり、火災の予防方法や、迅速な対処法など、消防・防災について、これまで以上に真剣に考えるようになりました。

また、消防団活動を通して、今までの生活では関わる事が無かった方たちと出会えました。

様々な考え方の団員と交流し、共に訓練で汗を流すことによって、新しい価値観などに触れることができました。これらの経験はとても貴重なものであり、私にとって、大きな財産になったと感じています。

そして、微力ではありますが、私が消防団活動で得た財産を、次世代に伝えていきたいと思えます。